

* Happiness News * Vol.37

今回のテーマ **こどもの日と端午の節句** 

5月5日の「こどもの日」と「端午の節句」は同じだと思っている方がほとんどだと思いますが、実は「こどもの日」と「端午の節句」は別の行事だったのです！

「こどもの日」とは、1948年に制定された「国民の休日」です。こどもの日を制定する際、もともと「端午の節句」の日であった5月5日に決まったそうです。

「こどもの日」というと、子供たちをお祝いする日と思っていましたが、国の祝日法によると【こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する】という日だそうです。

男の子の日と思われがちですが、元々の「こどもの日」とは、性別関係なく母子の健やかで豊かな生活を願い祝う日だったそうです。



端午の節句とは

端午の節句とは、桃の節句のように「男の子の無病息災を祈願する日」です。

古代中国では季節の変わり目である節句に、病気や邪気から身を守るための行事が行われてきました。特に旧暦の5月は、毎年病気が流行りやすく「忌み月(いみづき)」とされ、厄災や邪気を払う為、薬草である「菖蒲(しょうぶ)」を飾っていたそうです。

江戸時代になり、武家社会の間では「端午の節句」に五月人形を飾って【男の子の厄除けと立身出世を願う】ようになったそうです。

こいのぼりの由来

中国の故事成語で有名な「登竜門(とうりゅうもん)」。急流の滝を登りきった鯉が、登竜門をくぐりぬげ、天に昇り龍になるといわれたことから、鯉のぼりは出世の象徴とされています。

また鯉は綺麗な川だけではなく、池や沼でも生きていける生命力の強い魚とされていて、環境の変化に流されず自分の力で歩いて行くお子様の成長を願ったそうです。

江戸時代の日本の風習に、武家に男の子が生まれた際は玄関前にのぼりを立てて祝うものがありました。この風習が今の鯉のぼりに繋がっているそうです。

住宅リフォーム・福祉用具以外・販売
株式会社ハピネス

【指定事業所番号：1670202298】

富山県高岡市野村 1355-9

☎：(0766)54-6114

FAX：(0766)54-6214



HAPPINESS.TAKAOKA

端午の節句のお菓子は、基本は柏餅やちまきなのですが、地域によって違うものもあるそうです！😊どれも美味しそうで調べながらお腹が空いてきちゃいました😊